

みんなで地域づくり事業企画書

<p>団体名</p>	<p>Y・Y・NOWSON（わいわいのうそん）</p>
<p>事業名</p>	<p>Y（よつかいどう）・Y（よしおか）・NOWSON（いまだきの農村）</p>
<p>目的・必要性</p>	<p>1 四街道の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 四街道は団地と古くからの地域が混在する稀有な環境です。</li> <li>② 四街道では農業従事者の高齢化等で休耕地が増えています。</li> <li>③ 古村でも生活環境の変化で昔ながらの生活文化が薄らいでいます。</li> </ul> <p>2 事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 街にしながら田舎の生活を体験する事が出来る場を創造します。</li> <li>② 休耕地の解消のモデルケースを創造します。</li> <li>③ 農村の生活と民俗の体験できる場を創造します。</li> </ul> <p>3 事業の必要性</p> <p>昨年度のコラボ事業助成金で整備した竈や、集会所の積極的活用をするために様々な事業を展開する必要があります。</p> <p>単に休耕地の活用に留まらず、市民が農家の農作業や旧来の生活を体験出来る場を作り、わいわいと賑わいのある農村となる事により、シンボリックな拠点として四街道市のシティセールスに繋がります。</p> <p>歴史民俗由来のイベント、文化的講演会、里山散策等の講座を設ける事で幅広い対象者に呼びかけ、わいわいと賑わいのある農村の生活体験の幅が広がります。</p>
<p>内容</p>	<p>地球にやさしい体験型農家生活のすゝめ</p> <p>26年度の取り組み</p> <p>「肥料農薬を使わず、虫を敵とせず」地球に優しい、こだわりの自然農法で作られたお米や野菜を、竈で煮炊き出来るように整備をしました。作物を作り、調理し、食す迄の一貫した体験が出来るようになりました。</p> <p>よつグルメ研究会の協力で酵素ジュースづくり。豊かな自然の恵みを活用して手軽に安価に、春の野草酵素ジュース・梅と桑の実の色合いも美しい酵素ジュースなど身体にも優しく、美味しいと評判でした。いろいろな材料で試してみたいと要望がありました。</p> <p>吉岡の伝統行事の虫送りもよつグルメが昔ながらの「ばらっぱ饅頭」を作り自然農塾生と一緒に稲の豊作を祈り、田んぼを歩き山に虫を連れ出す「稲虫送り」をしました。今は地元でもお饅頭を作らず、あんパンで代用しているので子ども達に「本物」を伝えました。</p> <p>ジャガイモ掘りにザリガニ釣り。サツマイモ掘りに焼き芋。地域の子育てネットワークに声かけして大勢の親子が里山遊びを満喫しました。道で会ったりすると挨拶してくれる子どもが増えました。</p>

「ケビン先生と歩く里山の魅力」はウオーキング+大学の先生の専門的なお話が聞けるとあって大人気です。27年度は大学側の協力体制も整い、「後援」から「共催」に変わり他の分野での協力も望めます。また、吉岡地区内の史跡巡りをするために、区に働きかけて東日本大震災で倒れたままになっていた『馬頭観音』や市文化財指定の「庚申塚」を直して貰うことが出来ました。

「一村のアトリエ」は玄関から三間続きの「一村の間」を集会場として一般のグループが使えるように鍵を付け替えました。古民家に魅力を感じる人も多いので、ワイワイと人が集まる機会が増えると思います。

## 27年度

### 1. YY農業体験

- ① 月1回開催している自然農塾の講座で受講生を募集し、稲作や畑作体験してもらい、休遊農地を使った新しく参加する農民づくりを目指します。
- ② 新しく整備した竈を使った昔の農家生活を体験し、自分で作ったお米、畑で育てた野菜を料理し実際に口にすることより、より一層自然を守る大切さ、食の重要性を学び次世代に伝える役割を果たします。
- ③ 子ども団体にも芋掘りや、里山遊び等の体験を通じて自然に親しむ場の提供をします。

### 2. YY生活体験

- ① 単発イベント型の生活体験として、吉岡の豊かな自然環境を活かし、Y・Y・NOWSON敷地内に自生する野草の料理、植樹してある果物の実の酵素ジュース作りなどの講座を設けます。
- ② よつグルメと協力して、「ばらっぱ饅頭」を作り稲の豊作を祈る『稲虫送り』に代表される、地域の伝統行事や料理の伝承に努め、地域活性につなげます。
- ③ 自然農の収穫した米や粉で餅つき、そば打ち、地元の野菜などを使った料理を地域の人達と共に楽しみ、YYNOWSONの認知度を高めます。

### 3. YY地区探訪

里山ウオーキングや吉岡地区の史跡めぐりなど、歴史民俗・自然環境等の講座を東京情報大学と連携して実施します。

ナチュラリストで有名な東京情報大のケビン・ショート先生の講座は大人気で、キャンセル待ちが多数出てます。27年度も引き続きケビン先生の講座をお願いすると共に、他の先生方の協力も頂き四街道の魅力を引き出す多種多様な講座を企画します。

情報大と提携することは大学の施設を借りられる利便性があり、広く情報発信をすることが出来、より広い地域からより多くの人達がワイワイと集まって来ます。

	<p>4. 「一村のアトリエ」</p> <p>日本画家・田中一村ゆかりの家としての認知度も上がり、一村に関する講演会には県内外、遠くは埼玉、神奈川等からも足を運んでくれる愛好者がいます。基本的には会員制ですが、会員以外の方が申し込めるようにホームページ、市政だより、地域情報紙への掲載をし、不便な立地条件に拘わらず毎回70名前後(最高90名)の一村ファンが集います。</p> <p>YYNOWSON企画との相乗効果もあり、築145年の古民家に興味を持つ人も多く、集会所として使う団体も出てくると思います。YYNOWSONの中核として、ここから文化・芸術の発信を継続的に行うことにより、シティセールスに繋がります。</p>	
スケジュール	時期	具体的な取組
	通年	農作業・農家体験受講生の募集と実践
	4月	筍・野草料理教室 アトリエ講演会
	5月	ケビン先生講座
	6月	ジャガイモ掘り
	7月	ばらっば饅頭づくり
	9月	情報大共催講座
	10月	文化祭 サツマイモ掘り
	11月	ケビン先生講座
	12月	餅つきなどの収穫祭
	3月	情報大共催講座
	役割分担の想定	<p>(団体の役割)</p> <p>事業の企画、実施</p>
<p>(市の役割)</p> <p>事業の広報、後方支援、企画への参画</p>		
他団体との連携	四街道自然農塾、一村のアトリエ、東京情報大学、よつグルメ研究会	
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四街道のシティセールスにつながる。</li> <li>・農業体験、田舎生活体験をすることにより、他市から営農移住者を誘致するきっかけづくり。</li> <li>・北総地域の歴史民俗文化の再興を図る。</li> </ul>	

備考

- 1 「役割分担の想定」のうち(市の役割)は、事業形態がサポート型にあつては、役割がある場合に記載してください。
- 2 「期待される効果」は、数値等を記載してください。

## YYNOWSONのご案内

### 1 かまど小屋



改修中のかまど小屋(農村生活体験で収穫した米、野菜類を煮炊きします)。

### 2 粉ひき小屋



改修済みの粉ひき小屋、現在はよつグルメによる製粉機が設置されています。

### 3 集会所



日本画家『田中一村』が創作活動をした母屋。  
集会所として改修しました（玄関及び居住部分との仕切に鍵を設置）。

### 4 自然農による耕作中の田んぼ



昔ながらの農法で耕作しています。

#### 4 吉岡に残る文化財の紹介等



ケビン・ショートさん(東京情報大教授)による吉岡の里山、史跡、伝統文化の紹介